

# 新規事業採択時評価結果 (平成16年度新規事業化箇所)

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道55号 牟岐バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：徳島県海部郡牟岐町川長 至：徳島県海部郡牟岐町中村	延長	2.3km		

**事業概要**  
一般国道55号は、徳島県徳島市から高知県高知市に至る延長約200kmの主要な幹線道路であるほか、沿線地域の日常生活を支える重要な路線でもある。  
牟岐バイパスは、徳島県南部にある牟岐町の市街地を迂回する延長2.3kmの2車線道路である。

**事業の目的、必要性**  
牟岐バイパスは、現道の交通隘路の解消により交通事故の抑制を図るとともに、現道活用型バイパスとして県南部地域の幹線道路ネットワークの一部を形成することで地域連携の支援、安全な道路空間の確保、快適な沿道環境の確保に寄与するものである。

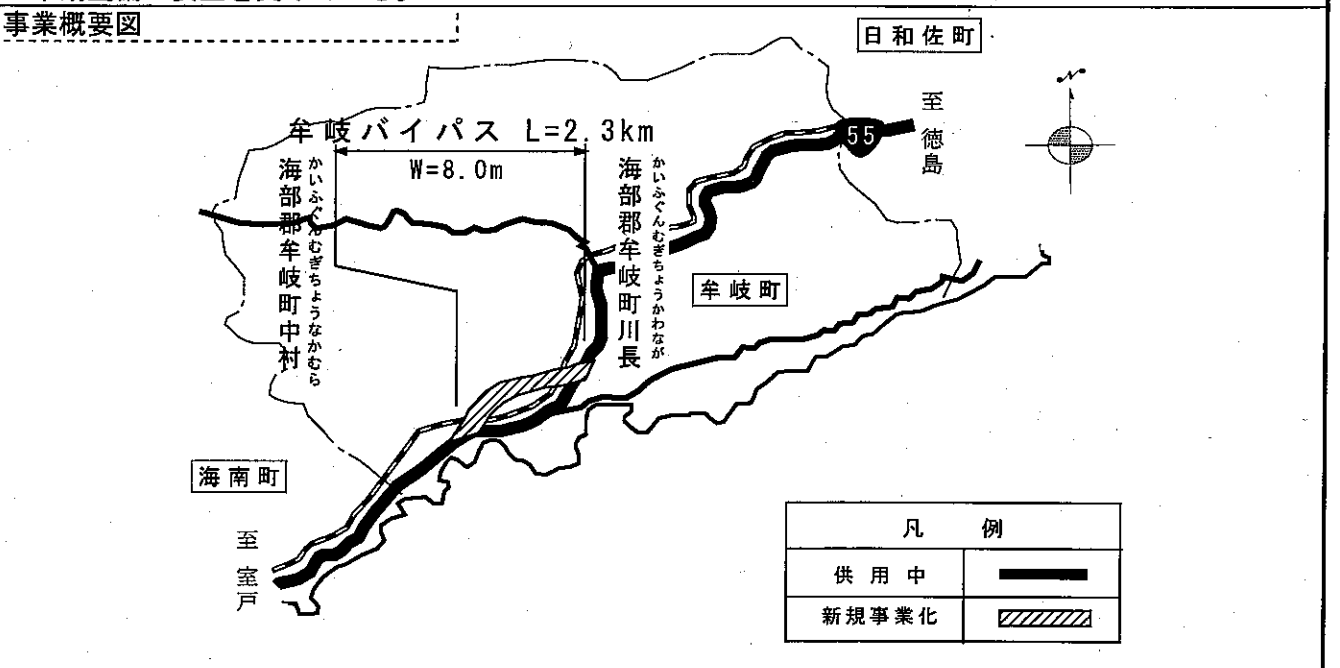
全体事業費	49億円	計画交通量	3,000台/日
費用対効果分析結果	B/C 1.6	総費用 50億円 (事業費：41億円 維持管理費：9億円)	総便益 79億円 (走行時間短縮便益：78億円 走行費用減少便益：1億円 交通事故減少便益：0億円)
		基準年	平成15年

**事業の効果等**

- 円滑なモビリティの確保 (現道における旅行速度の改善が期待される)
- 物流効率化の支援 (重要港湾橋港へのアクセス向上が見込まれる)
- 安全で安心できる暮らしの確保 (3次医療施設のある小松島市徳島赤十字病院、牟岐市街地にある2次医療施設の県立海部病院へのアクセス向上が見込まれる)
- 災害への備え (津波による現道被災時の代替性が確保される)

他13項目に該当 (定量的評価項目を含む)

**関係する地方公共団体等の意見**  
牟岐バイパスは、構造要件の緩和を踏まえ、将来的な地域高規格道路としての活用も念頭に徳島県南地域にとって重要な役割を果たすことが期待されており、「国道55号バイパス建設促進県議会議員協議会」、「一般国道55号・阿南安芸自動車道整備促進期成同盟会」、「徳島県海部郡議長会」等より早期整備の要望を受けている。



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。